

今回は晴れ！晴れ！



まだ夏休みの方、体調不良の方、などなど、今回は12名で、和気あいあい、夏の市民の森を楽しみました。

花が見れた



シデジャシン(四手沙参)
キキョウ科 シデジャシン属
多年草

《名前の由来》
神社のしめ縄や玉串などにつける白い紙(四手)のように花が細く裂けることから。沙参はツリガネニンジンの仲間と考えたのではないか。



セイヨウウツボグサ(西洋靱草)

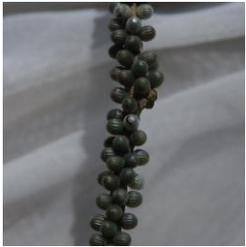


ミヤマウズラ(深山鶉)

- オトギリソウ(弟切草)
- コケオトギリ(苔弟切)
- ヤマホタルブクロ(山螢袋)
- ツルニンジン(蔓人参)の蕾
- ボタンヅル(牡丹蔓)
- ヘクソカズラ(屁糞蔓)
- クサフジ(草藤)
- ツユクサ(露草)
- ナンバンハコベ(南蛮繁縷)
- キツネノカミソリ(狐の剃刀)
- ダイコンソウ(大根草)
- ミゾホオズキ(溝酸漿)
- アオツヅラフジ(青葛藤)
- キンミズヒキ(金水引)
- ミズヒキ(水引)

オオムラサキ物語 続編 (井村)

頂上広場直前のエゾエノキの枝を、24個の眼でオオムラサキの卵を探しました。結果、小林さんが最初に見つけ、目が慣れてくると、あそこの枝、ここの葉にと見つかりました。「スグリ」の実のような縦の縞々模様」とどなたかが表現されていましたが、オオムラサキの特徴の縞々もあります。



枝に産み付けられた卵



葉に産み付けられた卵

サナギ、成虫は観察することができませんでしたが、着実に、市民の森でオオムラサキのライフサイクルが営まれていることが分かり、感激でした。
卵の付いた枝を折ってしまったので、馬場さんが持ち帰り観察結果を報告いただくことになりました。

ヤマホタルブクロ、ホタルブクロの見分け方(井村)

がくの裂片の間に反曲する付属帯がないのがヤマホタルブクロ、あり、毛深いのがホタルブクロ。



ヤマホタルブクロ

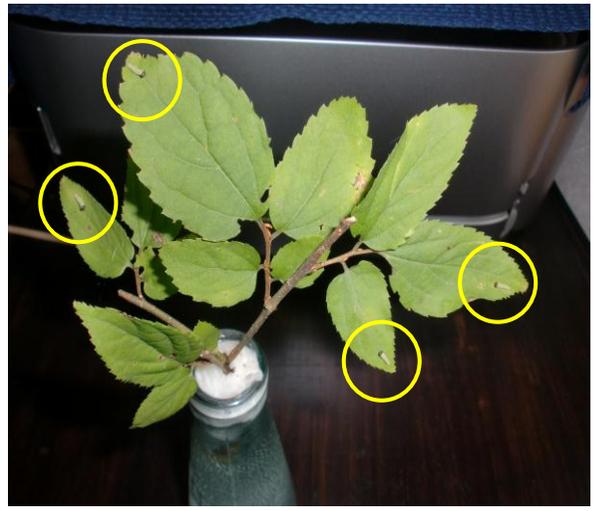


ホタルブクロ

諏訪地方は、ヤマホタルブクロが多いそうです。諏訪の植物には「ホタルブクロは、一部に限られて産す」と記載されています。

オオムラサキ物語 続編のその後 (馬場)

- その後のオオムラサキ卵について
- A. 観察会翌日(22日)朝までに8卵が孵化
→二日後(24日):野外のエノキへ放す
→27日:付近の葉上では幼虫は確認できず。
 - B. 未孵化卵の内、白く変化した52卵をエノキの枝につける
→27日:大半が孵化していたが付近の葉上では1頭のみ確認。
 - C. 残りの76卵はシャーレの中で経過観察
→大半が数日で白く変化し孵化直前
→27日:未孵化のまま(全卵死亡か?)
- Aの24日の写真を添付します。葉上先端部に1令幼虫が静止しています。



黄色○内の幼虫をアップすると↓



この葉は？ スミレの果実がついている！ 井村
エイザンスミレ(観山堇)
 写真では見難いですが、真
 ん中上部にスミレ果実がつ
 いていました、
 市民の森の観察リストに掲
 載されていない初物。
 来春、花に注目しましょう。



この葉はどこ？ 発見者：？
 場所が分かりません。どなたか覚えていませんか？
マツブサ(松房) では？
 マツブサなら、市民の森
 の観察リストにまだ掲載
 されていない初物。
 実を確認したいので、だ
 れか場所を覚えていませ
 んか？



フジウツギか？ (タマアジサイの場所の近く) (井村)
 ブツレアに似た枝はフジウツギではないか？
 花を確認したところ、
 フジウツギ(藤空木)フジウツギ科 フジウツギ属



8.21



8.29

観察した昆虫 (井村)
 ・ナナフシ



・アキアカネ



・オニヤンマ

観察した蝶 (馬場)
 ・アゲハ♀
 ・オナガアゲハ♀
 ・カラスアゲハ♀
 ・ミヤマカラスアゲハ♀
 ・キチョウ



この葉は？ 当日名前が思い出せなかった植物 (井村)
ヤブマメ(藪豆)
 (マメ科 ヤブマメ属)
 ヌスビトハギの葉ににしてい
 るけど。蔓で絡み付く。



8月の月例観察会のその後
 xxxxxxxx 8.29
 コウガギク 9.7
 ミゾソバ 9.7
 ゲンソノショウコ(紅花) 9.7
 ダイコンソウ 9.7
 エイザンスミレ(閉鎖花) 9.7
 ネコハギ 9.7
 フジウツギ 8.29
 ツリフネソウ 9.7
 キバナアキギリ 9.7
 ナンテンハギ 9.7
 ヤブマメ 9.7
 ヤハズソウ 9.7
 ママコナ 9.7
 青字は市民の森では初お目見え。

第3回市民の森観察会のお知らせ
～秋の樹木ときのこの観察～
 毎年恒例の樹木の観察会を今年は秋に森の様子を楽しみながら、樹木の一年
 の変遷を観察します。
 また、樹木ときのこの関係性や、きのこの同定なども学びます。

日 時 10月7日(日) 午前9時～午後3時頃まで
 雨天中止。(中止の場合は、当日朝8時頃までに連絡します。)

場 所 茅野市 市民の森(吉田山) 駐車場集合 地図

講 師 大木 正夫さん(長野県林業大学校講師)

定 員 20名(先着順)

費 用 1000円(資料代など)

持 ち 物 散策のできる服装、雨具、昼食、飲み物、きのこ汁用椀、箸

申し込み・問い合わせ
 名前、住所、当日朝が雨の場合の連絡先を明記の上お申込み下さい。
 矢崎 ☎/Fax:72-6756
 E-mail: yazaki@8moribunka.org

申し込み期間 9月20日(木)～30日(日)